

第10回

香村賞ビジネスプラン

募集要項

2019年8月

和歌山大学

香村常雄基金（香村賞）

和歌山大学では、2010年から本学学生の勉学意識と社会的貢献意識の向上、及び、就職支援を目的として、全学生（院生を含む）を対象にして、柑芦会（和歌山大学経済学部同窓会）の「香村常雄基金」を基にした「香村賞ビジネスプラン」コンテストを開催しています。

香村常雄基金とは、和歌山高等商業学校（和歌山大学経済学部の前身）4期生の故香村常雄氏・富子氏ご夫妻のご遺志・ご遺産によって設立された基金です。香村常雄氏は愛知県岡崎市のご出身で、1926年3月（大正15年）に和歌山高等商業学校に入学、1929年3月（昭和4年）に高商4期生として卒業されました。その後、明治生命保険株式会社にご入社、さらに2、3の会社でご活躍され、計理士などもされました。1943年9月（昭和18年）に応召、満州（現 中国東北地方）で終戦ののち、1946年9月17日（昭和21年）に北朝鮮（現 朝鮮民主主義人民共和国）の病院でご逝去されました。富子夫人との結婚生活は短い期間でしたが、その間、常雄氏はいつも和歌山高等商業学校のことを誇りを持って富子夫人に語っておられたようです。

その後、富子夫人から1986年（昭和61年）に柑芦会に高額のご寄附を頂き、さらに2010年（平成22年）にご逝去された折に、ご遺産のほぼ全額の約1億4000万円をご寄附頂きました。そのご遺志を後世まで引き継ぐことを願って、柑芦会において「香村常雄基金」が設立されました。

本学教職員・学生一同、故香村常雄氏・富子氏ご夫妻のご遺志を末永く引き継ぐとともに、重ね重ねのご寄附に御礼と感謝を捧げたいと思います。

和歌山大学柑芦会の歴史

1926年3月11日（大正15年）、和歌山高等商業学校第一回卒業証書授与式が挙行されたが、卒業式直前に生徒の間からこのまま四散するにしのびないとの声が起こり、数名が発起人となって学校当局の同意をとりつけ、卒業証書授与式の日、和歌山高等商業学校同窓会の発会式が挙行された。

同窓会は、のち1929年（昭和4年）に「柑芦会」と命名された。

「柑芦」の名付親は岡本校長で、和歌山といえば「蜜柑」、学校の敷地あたりは「芦」が生い繁っていたことから「蜜柑」の香りと、天指して上に伸びる「芦」のたくましき、強さにちなんで命名されたものである。柑をカンと読まずコウと呼びならわしている。（柑芦会ホームページより引用）

目次

I. はじめに

II. 募集部門

1. ビジネスプラン部門
2. わかやま創生プラン部門

III. 応募について

1. 応募方法
2. 応募資格

IV. 審査

1. 審査方法
2. 審査基準
3. 審査スケジュール
4. 審査委員
5. 表彰式および交流会

V. 香村賞の賞金

VI. ビジネスプラン・サポート制度

1. サポーター教職員
2. Gateway Saloon 柑芦会
3. 産学連携イノベーションセンター「和太起業学生グループ」
4. 「香村賞説明会」および「ビジネスプラン書き方講座」の開催

VII. 注意事項

1. 応募内容の取扱
2. 問い合わせ先

VIII. 参考資料

1. よくある質問
2. これまでの受賞例
3. 参考図書

1. はじめに

和歌山大学では、本学学生の勉学意識と社会的貢献意識の向上、及び、就職支援・創業支援を目的に全学生（院生を含む）を対象として、柑芦会（和歌山大学経済学部同窓会）の「香村常雄基金」の果実を利用した「香村賞ビジネスプラン」コンテストを開催します。

応募者には、このコンテストが自らの考えるビジネスプランやアイデアを「試す機会」となり、将来、起業を志す学生にとっては「登竜門」となることを望みます。

一方で、起業希望学生だけに応募資格があるわけではなく、将来、就職することを考えている学生であってももちろん応募できます。自分のアイデアを事業化することまで考えていない学生からも応募を歓迎します。

学生らしい発想力豊かで独創的なアイデアや、これからの社会をより良くするためのビジネスプランなどを期待していますので、奮って応募ください。

II. 募集部門

1. ビジネスプラン部門

高度な専門的技術、創造的才能を生かして、大企業などでは実施しにくい「創造的・革新的なビジネスプラン」、あるいは新しいシステムづくりに創意工夫を凝らし、新機軸を生み出し、「豊かな事業機会の開発」など、学生らしいユニークなビジネスプランを募集します。

(例えば、商品開発・サービスの提案、技術発明など)

2. わかやま創生プラン部門

和歌山県内の地域資源(※1)を用いて、県内の深刻な地域課題の解決に寄与する地方創生ビジネスプラン(※2)について募集します。

※1 地域資源

「地域資源」とは、特定の地域に存在する特徴的で活用可能な資源であり、景観資源、自然資源、歴史資源、文化資源、体験・交流資源、施設・情報資源、人的資源などです。具体的には中小企業地域資源活用推進法に基づき和歌山県が地域産業資源と指定したのもも利用可能です。



<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/chiikishigen/kihonkousou.html>

※2 地方創生ビジネスプラン

単なるイベントや情報発信ではなく、ビジネスの手法を用い地域住民等とともに連携・協働して新しい地域の価値を提案するプランを指しています。

Ⅲ. 応募について

1. 応募方法

※例年までの応募方法と大きく変更されていますので、ご注意ください。応募サイトから必要事項を登録した後、応募用紙をアップロードサイトから提出してください。両方行わなければ、応募は完了しません。

- 1) 応募用紙は和歌山大学のホームページからダウンロードしてください。右記のQRコードからもアクセスできます。

http://www.wakayama-u.ac.jp/ci_jr/news/2019080900047/



- 2) 下記の応募サイトから必要事項を登録してください。右記のQRコードからもアクセスできます。

応募にあたっては、「代表者の氏名・学部・学年・学生番号・連絡先」「その他応募者全員の氏名・学部・学年・学生番号」「応募プランのタイトル（公開）」「応募プランの概要 100 文字（公開）」「地域資源（わかやま創生プラン部門のみ）」を登録する必要があるため、事前にメモ帳などに準備しておいてください。

<https://forms.gle/MMXSrpSuJASqLLQ2A>



- 3) 応募用紙の提出は、下記のアップロードサイトを通じて行ってください。ファイル形式は「PDF」のみとしますので、Word ファイルの応募用紙をPDFに変換してください。ファイル名は「部門名__代表者氏名」に変更してください（例：ビジネスプラン__和歌山太郎.pdf）

<https://proself.center.wakayama->

[u.ac.jp/public/sHV4AArRRcMAHSgByTJszDhwelh8VMn3o-wtlgly-4Us](https://proself.center.wakayama-u.ac.jp/public/sHV4AArRRcMAHSgByTJszDhwelh8VMn3o-wtlgly-4Us)



- 4) 受理通知の返信が、応募サイトの登録翌日（土日祝を除く）までにあることを確認してください。もし、返信がない場合は何らかのトラブルにより不達可能性がありますので、「Ⅶ. 注意事項の問い合わせ先」までご連絡ください。

- 5) 応募後に応募内容・用紙の差し替え、修正、再送は締め切り期間内外であっても一切受け付けられません。内容を十分に確認の上、提出してください。（例年、1～2 件のミスがあります）

2. 応募資格

1) ビジネスプラン部門

和歌山大学に在籍する学部生、大学院生、外国人留学生の個人またはグループ。ただし、社会人学生、研究生、科目等履修生、聴講生、休学中の学部生・大学院生は含まない。

2) わかやま創生プラン部門

和歌山大学に在籍する学部生、大学院生、外国人留学生、和歌山大学卒業生及び修了生の個人またはグループ。また、このグループには紀の国大学参加校（※3）・紀の国大学協力校（※4）の学部生及び大学院生を含むことができます。ただし、いずれの大学であっても社会人学生、研究生、科目等履修生、聴講生、休学中の学部生・大学院生をグループに含めることはできません。

※3 紀の国大学参加校

大阪市立大学、大阪府立大学、摂南大学、和歌山工業高等専門学校、和歌山信愛女子短期大学

※4 紀の国大学協力校

関西大学、近畿大学、和歌山県立医科大学

IV. 審査

1. 審査方法

審査は学内外の審査委員による「2段階審査」を行います。応募書類に基づく「書類審査」と、その上位者（10組程度）がプレゼンテーション（質疑応答を含む）を行う「最終審査」があります。いずれも、各審査委員が下記の審査項目を評価し、その合計得点と審査委員による協議により受賞者を決定します。

なお、書類審査及び最終審査の審議過程・内容に関する問合せには応じられません。

2. 審査基準

1) ビジネスプラン部門

(A) 事業の着眼点

- ・ 学生ならではの着眼点、チャレンジ精神、夢のあるプランであるか。
- ・ 大学で学んだことがどのように生かされているか。

(B) 事業の新規性、独創性

- ・ すでに同種の商品が市場化されていないか。市場化されていれば、それとの違いはどこにあり、どのような新規性があるのか。プランは他の事業・商品・サービスとは類似なく、独自の発想に基づいたものか。

(C) 顧客とそのニーズ

- ・ 想定している顧客は細分化されて、焦点が絞られているか。その顧客は何に魅力を感じ、顧客が得る満足・効用はバランスするか。どのような顧客のニーズに応じて、どのような商品・事業・サービスを提供するのか。

(D) 競争他者との比較

- ・ 既存のどの商品・事業・サービスと競合するか、代替するか。あるいは、補完するか、結合するか。同種商品と比較してどんな特徴をもっているか。品質、コスト、イメージ、アフターサービスにおいて競争力はあるか。後から参入してくる競争業者に対抗できるか。

(E) 表現力

- ・ 読んだ人がイメージを描ける表現になっているか。簡潔に、核心を述べているか。

2) わかやま創生プラン部門

(A) 事業対象の地域資源の現状と課題

- ・ 和歌山県内あるいは全国的な位置づけ、優位性・固有性・希少性などの特徴や利活用する上での課題・問題点・持続可能性などを客観的データで把握しているか。
- ・ 和歌山県内のどのような地域課題に対して、地域資源を活かした地域を活性化するビジネスプランになっているか。
- ・ 大学で学んだことがどのように生かされているか。

(B) 事業の新規性、独創性

- ・ すでに同種の商品が市場化されていないか。市場化されていれば、それとの違いはどこにあり、どのような新規性があるのか。プランは他の事業・商品・サービスとは類似なく、独自の発想に基づいたものか。

(C) 顧客とそのニーズ

- ・ 想定している顧客は細分化されて、焦点が絞られているか。その顧客は何に魅力を感じ、顧客が得る満足・効用はバランスするか。どのような顧客のニーズに応じて、どのような商品・事業・サービスを提供するのか。

(D) 競争他者との比較

- ・ 既存のどの商品・事業・サービスと競合するか、代替するか。あるいは、補完するか、結合するか。同種商品と比較してどんな特徴をもっているか。品質、コスト、イメージ、アフターサービスにおいて競争力はあるか。後から参入してくる競争業者に対抗できるか。

(E) 実現性

- ・ 地域の自治体、地域住民、NPO・任意団体などとの連携、協力はえられるか。
- ・ 地域資源（自然資源、観光資源など）の持続可能性と維持管理への配慮がなされているか。

(F) 表現力

- ・ 読んだ人がイメージを描ける表現になっているか。簡潔に、核心を述べているか。

3. 審査スケジュール

1) 募 集 期 間 ～11月7日(木) 17時厳守

2) 書類審査期間 11月12日(火)～11月19日(火)

3) 一次選考結果の通知 11月25日(月)

4) 最終審査会 12月3日(火) 午後

5) 表彰式及び交流会 12月3日(火) 夕方。最終審査会後、学内で開催(予定)

※審査スケジュールは予告なく変更される場合があります。最新の情報は、本学ホームページか「VII. 注意事項の問い合わせ先」までお問合せください。

4. 審査委員

審査委員は、本学学長を審査委員長として、学内審査委員、学外審査委員（柑芦会）及びCOC+事業協働機関から約1名によって構成されます。ただし、審査委員及び委員数は予告なく変更される場合があります。

5. 表彰式および交流会

最終審査会后、同日・別会場にて表彰式及び交流会を開催します。この交流会では応募者と審査委員とがビジネスプランに対する意見交換、助言・講評を直接聞きながら、より良いビジネスプランへと改善する機会として設けるものです。また、交流会では軽食と飲み物を提供する予定ですので、是非、応募者の皆さんは積極的にご参加ください。

なお、入賞者については後日、校内掲示板及び本学ホームページ上にて公表するとともに、応募者全員に結果と審査講評を送付します。

V. 香村賞の賞金

1. ビジネスプラン部門

優秀賞 1件 賞状と賞金 10万円

奨励賞 2件 賞状と賞金 5万円

2. わかやま創生プラン部門

紀の国大学賞 1件 賞状と賞金 10万円

※両部

門とも応募内容によっては、「該当者なし」と評価される場合や、特別賞等の授与や受賞件数を増減する場合があります。

VI. ビジネスプラン・サポート制度

ビジネスプランを考えている時に、「具体的にどんなプラン（内容やレベル）がいいか、わからない」「1人で考えていると行き詰まる」といったことはありませんか？

そこで本学では、香村賞への応募者に対して「サポート制度」を設けました。このサポート制度では、皆さんのビジネスプランに対して、学内の教職員からそれぞれの専門分野からみた一般的な知識・課題点・参考例の提示といった支援が受けられます。皆さんが行き詰まり、助言をもらいたいときには、下記の教職員や場所を訪ねてみてはいかがでしょうか。もしかしたら、ヒントが得られるかもしれません。

ただし、「受賞できそうかの手応え」「ビジネスプランとしての成否」「経営的視点での回答」などの経営的支援・助言はできません。

1. サポーター教職員

募集期間中、教職員が必ず在室し、対応することを約束するものではありませんので、訪問に際してはオフィスアワーを利用するか、事前連絡の上、来室してください。また、自分のビジネスプランを説明する資料を持参すると、相談がスムーズになります。

- ・ **教育学部**
荒木 良一 （農業、植物栄養学、土壌学など）
- ・ **経済学部**
藤田 和史 （産業集積、企業間ネットワーク、地理情報システム（GIS））
本庄 麻美子 （キャリアデザイン、卒業生ネットワーク、人材育成）
- ・ **システム工学部**
宮川 智子 （景観・環境計画、パートナーシップの形成）
- ・ **観光学部**
永瀬 節治 （都市計画、まちづくり、景観・町並み、地域資源、生活と観光）
大浦 由美 （森林資源・森林レクリエーション、林業）
- ・ **産学連携イノベーションセンター**
米田 則篤 （産学連携、スタートアップ）
恵下 隆 （半導体、企業連携）
小門 英博 （知的財産、特許、商標）
似内 映之 （産学連携、工学全般）
田代 優秋 （自然環境、農山村振興、体験農業）
- ・ **食農総合研究所**
岸上 光克 （地域づくり戦略、農産物流通、農協共販）

- ・ **地域活性化総合センター**
西川 一弘 （社会教育、地域交通、鉄道防災教育）
- ・ **キャリアセンター**
木村 亮介 （キャリア教育、実践教育、インターンシップ、PBL、アクティブラーニング）

2. Gateway Saloon 柑芦会（ゲートウェイサロン・こうろかい）

和歌山大学経済学部卒業生の同窓会組織である「柑芦会（こうろかい）」では、現役学生の皆様との交流のための拠点として学内に「Gateway Saloon 柑芦会」を2015年4月から設置しています。設置の目的は、これから社会に巣立とうとする学生の皆様が抱える不安や悩みなどに対して、同窓の卒業生であるOBやOGが、皆様の「先輩として」の立場から、親身にご相談に乗り、助言などを通じて皆様への支援を行うためです。気軽にお立ち寄り頂ければ、ビジネスプランについてもヒントが得られるかもしれません。

- 1) 場 所 西3号館(経済学部・本館棟) 1階 110号室
- 2) 日 時 10月1日～1月31日（月～金曜日） 12:00～15:10
休止や変更の場合は、学内に掲示しますので、事前にご確認ください。
- 3) 利用方法 上記日程にアドバイザーがサロンに居ますので、気軽にお立ち寄りください。
「事前予約」なしでも対応させていただきますが、先に「予約」がある場合は予約の方を優先させていただきますので、ご了承ください。
※「予約」をされる方は、サロン入口の「予約表」に必要事項（学部、学年、性別のみ。他の個人情報不要）をご記入ください。
※「時間外」の場合は、必ず「事前予約」してください。
- 4) 利用可能者 全学部、全学年（大学院を含む）の現役学生
- 5) お問い合わせ 経済学部・事務室（担当：長谷）
柑芦会・本部事務局（担当：浦事務局長）
honbu@kourokai.com
06-6941-4986 （月～金曜日・10:00～17:00）
※詳しくは下記のQRコードから学内ホームページ



3. 産学連携イノベーションセンター「和太起業学生グループ」

本学では、2018年度から起業を希望する学生らが集まって、起業に挑戦するためのサークル的な活動を始めています（2019年8月時点で、全学部・全学年から希望学生があり、約70名が活動

中)。この和太起業学生グループが定期的に開催する自主的な勉強会では、それぞれがビジネスプランを披露してメンバーから意見をもらい、ブラッシュアップしています。香村賞への応募者はこの場に参加したり、あるいはビジネスプランを発表することで、グループメンバーから何らかの助言やヒントが得られるかもしれません。月に数回、不定期で開催していますので、開催日、時間、場所など詳しいことは、産学連携イノベーションセンター（担当：田代）までお問合せください。

4. 「香村賞説明会」および「ビジネスプラン書き方講座」の開催

1) 香村賞説明会

香村賞の概要（両部門の特徴や注意事項、書き方の要点など）を解説します。

日 時 2019年10月9日（水）16:30～18:00
場 所 栄谷会館（和歌山大学キャンパス内、学生生協の裏の駐車場を越えた外周道路沿い）
講 師 産学連携イノベーションセンター 田代

2) ビジネスプラン書き方講座

ゼロからビジネスプランを考える方法、好きなことからビジネスプランを考える方法などを具体的な事例を提示します。1年生などの初心者向けですので、気軽に参加してください。

日 時 2019年10月15日（火）16:30～18:00
場 所 栄谷会館（和歌山大学キャンパス内、学生生協の裏の駐車場を越えた外周道路沿い）
講 師 産学連携イノベーションセンター 田代

VII. 注意事項

1. 応募内容の取扱

- 1) 応募されたプランは、審査会等において発表することに同意したものとして取り扱います。
また、和歌山大学及び紀の国大学（参加校、協力校を含む）のホームページや報告書への掲載、COC+事業協働実施機関（和歌山県、紀陽銀行、和歌山県経営者協会、和歌山県中小企業団体中央会）への情報提供を行うことがあります。あらかじめご了承ください。
- 2) 特別な事項（ノウハウや営業の秘密事項など）については、法的保護を行うなど応募者の責任で対応してください。
- 3) 応募内容、受賞者の情報については、報道機関などに提供することがあります。

2. 問い合わせ先

1) 応募用紙の送付、ビジネスプラン全般に関するお問い合わせ

和歌山大学 産学連携イノベーションセンター

電 話 073-457-7575

連絡先 kamura-prize@ml.wakayama-u.ac.jp

2) 「わかやま創生プラン」に関するお問い合わせ

和歌山大学 COC+推進室（図書館 3F、エレベーターあがって突き当りを右）

紀の国大学ホームページ <http://kinokuni-u.jp/>

電 話 073-457-7135（担当：佐藤）

連絡先 cocedu@ml.wakayama-u.ac.jp

VIII. 参考資料

1. よくある質問

Q1 1人または1グループで2部門ともに応募できますか？

個人・グループ問わず、応募可能です。ただし、2部門ともに「同じ内容」で応募することはできません。

Q2 1部門に1人で複数プランを応募できますか？

応募可能です。ただし、応募内容の熟度が下がるため、あまりオススメしません。1つのプランを練磨することを推奨しています。

Q3 1人の応募者が複数プランにメンバーとして参加することはできますか？

可能です。例えば、1人で応募しつつ別のグループのメンバーとなること、2つのグループに所属することなどはできます。

Q4 応募グループの人数に制限はありますか？

ありません。何人でも構いませんが、単に調査に協力した、作業を手伝ったような学生は対象になりません。応募内容の立案・試行・改善などに貢献したとメンバー全員が納得できる学生を記載してください。

Q5 第一次審査（書類審査）は何件程度が通過できますか？

件数に制限を設けていません。例年の平均では10件程度です。

Q6 最終審査会（プレゼンテーション）の発表時間はどのくらいですか？

発表件数に応じて、毎回決めています。例年の平均ではプレゼンテーション8分程度、質疑応答5分程度です。

Q7 他のビジネスプランコンテストなどで発表した（受賞プランも含む）、もしくはこれから発表予定のプランでも応募できますか？

応募可能です。ただし、以下の場合には応募対象にはならず、もし受賞後に判明した場合は取り消されることがあります。

- ・ 応募者以外が考えた既発表されたビジネスプラン、またその内容をわずかに改変しただけで同内容と疑われるビジネスプラン（盗用・剽窃に該当）
- ・ 過去に香村賞で受賞したビジネスプラン、またその内容をわずかに改変しただけで同内容と疑われるビジネスプラン（盗用・剽窃に該当）

なお、他のビジネスプランコンテストに同内容で応募計画がある場合、その他のコンテスト

側で「未発表のもの」に限定されていることがあります。各自で注意してください。

Q8 2つの部門には、どのような違いがあるのですか？

2018年度から新たに「わかやま創生プラン」部門が新設されたことに伴い、2部門間で重視する評価項目が異なります。「ビジネスプラン部門」では学生らしいユニークなアイデアなど、実現可能性よりも突飛さや面白さをより重視しています。一方、「わかやま創生プラン部門」では地域資源を活かした地域課題の解決につながる、より実現性の高いアイデアを重視しています。

Q9 将来、起業するつもりはなく就職を考えていますが、応募できますか？

応募できますし、大歓迎です。ビジネスプランの思考過程、受賞経験などを通じて興味や関心が湧く可能性もありますし、最初から進路を決断してから応募する必要はありません。結果的に起業することが、進路の選択肢のひとつになれば幸いです。

2. これまでの受賞例

これまで大学生らしいビジネスプランが50件以上寄せられ、以下のようなプランが優秀賞を受賞しています。いずれのプランも「なるほど」と審査委員が思うようなアイデアが詰まったものばかりです。これまでのビジネスプランに関する具体的な内容については、今後、和歌山大学のホームページなどでいくつか紹介する予定です。適宜ご確認ください。

<受賞プランのうち一部の例>

- ・ おむつポーチ（商品名：Mote - cha）の開発
- ・ 食器をデコレーションするクレヨンの販売（商品名：Plate—プラテ—）
- ・ トイレットペーパーカット補助具（商品名：マグカット）
- ・ Photrip ～新感覚のトラベルマップ共有～
- ・ 地域と学生をつなぐサービス～CHIKU Link～

3. 参考図書

大学図書館には、起業に役立つ書籍、ビジネスプランを立てることに使える書籍、アイデアや発想を広げるためのノウハウ本などを取り揃えています。また、★マークは図書館オススメですので、これらの書籍を利用しながら、より良いプランを作り上げてください。

カテゴリー	オススメ	書名	資料番号
ビジネスプランの立て方	★	ビジネスモデル2.0図鑑 / 近藤哲朗著 KADOKAWA	120180004709
		成功するビジネスプラン / 伊藤良二著 日本経済新聞社	120060005995
		Money: もう一度学ぶお金のしくみ / チャールズ・ウィーラン著; 山形浩生, 守岡桜訳 東洋館出版社	120170004646
		事業創造のための実践ビジネスプラン: 「社会人基礎力」を鍛える / 川上智子, 徳常泰之, 岸谷和広編著 中央経済社	120100001579
		道端の経営学: 戦略は弱者に学べ / マイケル・マツエオ, ポール・オイヤー, スコット・シェーファー著; 江口泰子訳 ヴェレッジブックス	120170004443
	★	模倣の経営学: 偉大なる会社はマネから生まれる / 井上達彦著 日本経済新聞出版社	120170004131
		模倣の経営学: 実践プログラム版: New combinations: 模倣を創造に変えるイノベーションの王道 / 井上達彦著 日経BP社	120170004147
		ビジネスプラン・シナリオ作成術~事業企画・商品企画が成功する10ステップ~/ HRインスティテュート著; 野口吉昭編 かんき出版	120180000873
		プロ直伝!成功する事業計画書のつくり方~マンガでわかる!ビジネスの教科書~/ 秦充洋著 ナツメ社	120180000870
	アイデア、発想		知的創造のヒント / 外山滋比古著 筑摩書房
		アイデアのレッスン / 外山滋比古著 筑摩書房	120110004665
		考え方の教室 / 齋藤孝著 岩波書店	120150002672
★		ビジネスフレームワーク図鑑: すぐ使える問題解決・アイデア発想ツール70 / アンド著 翔泳社	120180004066
		アイデア大全: 創造力とブレイクスルーを生み出す42のツール / 読書猿著 フォレスト出版	120170006165
		問題解決大全: ビジネスや人生のハードルを乗り越える37のツール / 読書猿著 フォレスト出版	120170006164
		マインドマップ戦略入門: 視覚で身につける35のフレームワーク / 塚原美樹著 ダイアモンド社	120090000978
		マインドマップが本当に使いこなせる本 / 遠竹智寿子, 月刊アスキー編集部著 アスキー・メディアワークスアスキームック	120100003473
		お金と感情と意思決定の白熱教室: 楽しい行動経済学 / ダン・アリエー著; NHK白熱教室制作チーム訳 早川書房	120170005684
お金を稼ぐ、起業		★	起業の科学~スタートアップサイエンス~/ 田所雅之著 日経BPマーケティング (発売)
		入門起業の科学 = Startup science / 田所雅之著 日経BP社	120180006932
		6つの不安がなくなればあなたの起業は絶対成功する~1万人を指導してわかった黄金法則~/ 坂本憲彦著 実務教育出版	120180000608
		ゼロからいくらでも生み出せる!起業1年目のお金の教科書 / 今井孝著 かんき出版	120180000604
		スタートアップ~アイデアから利益を生み出す組織マネジメント~/ ダイアナ・キャンダー著; 牧野洋訳 新潮社	120180000605
		女性のための「起業の教科書」: 法律・お金・経営のプロが教える / 豊増さくら編著 日本実業出版社	120180004190
		起業3年目までの教科書: はじめてのキャッシュエンジン経営 / 大竹慎太郎 [著] 文響社	120180004755